

Arcserve® CRS 1000 シリーズ はじめにお読みください

1 はじめに

Arcserve Cyber Resilient Storage Appliance 1000 シリーズ (以下、Arcserve CRS アプライアンス) をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。製品をご使用する前に、本書を必ずお読みください。

2 梱包内容の確認

本製品には、以下のものが梱包されています。はじめに、以下のすべてが入っているかをご確認ください。万一不足品がございましたら、早めに販売店にご連絡ください。弊社の出荷日から 30 日経過すると、不足品の補充が有償になる事があります。

製品内容	数量	確認欄
Arcserve CRS アプライアンス本体(シリアル番号は本体前面左側タグに貼付)	1	
フェイス プレート	1	
ラック マウント レール キット	1	
電源ケーブル	2	
はじめにお読みください(本書)	1	
フェイス プレート貼付用シール	1	

※ ライセンス キー等を記載したライセンス プログラム証明書は別途電子メールにてお納めします。

3 最新情報のお知らせ

製品の最新情報は、弊社 WEB サイトをご参照ください。サポート ポータルでは機能改善や不具合修正のためのパッチや注意事項などをご案内しています。

- ・Arcserve シリーズ 製品情報 (概要紹介、カタログなど)
<https://www.arcserve.com/ja/>
- ・サポート ポータル (注意/制限事項、動作要件、技術情報、マニュアルなど)
<https://support.arcserve.com/s/?language=ja>

4 Arcserve CRS シリーズのマニュアル

最新のマニュアルは、サポート ポータルより入手いただけます。

- ・Arcserve CRS シリーズ マニュアル一覧
<https://support.arcserve.com/s/article/2025090305?language=ja>

5 安全に関する注意事項

以下「Arcserve UDP アプライアンス ユーザ ガイド」の第 11 章に安全に関する注意事項をまとめています。本製品を使用する前に必ずご覧ください。なお、CRS アプライアンスは UDP アプライアンスとハードウェアを共通化しており、CRS アプライアンスにもこの内容が該当します。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/10.0/JPN/Bookshelf_Files/PDF/appliance_user_guide.pdf

6 株式会社ニューテックについて

ニューテックは Arcserve CRS アプライアンスのハードウェアを供給しています。Arcserve はニューテックと協力し、本製品のサポートをお客様に提供します。

ご注意:本書の内容は、2026 年 4 月 6 日現在のものです。
改善のため、事前の予告無く変更する場合があります。

Printed in Japan.

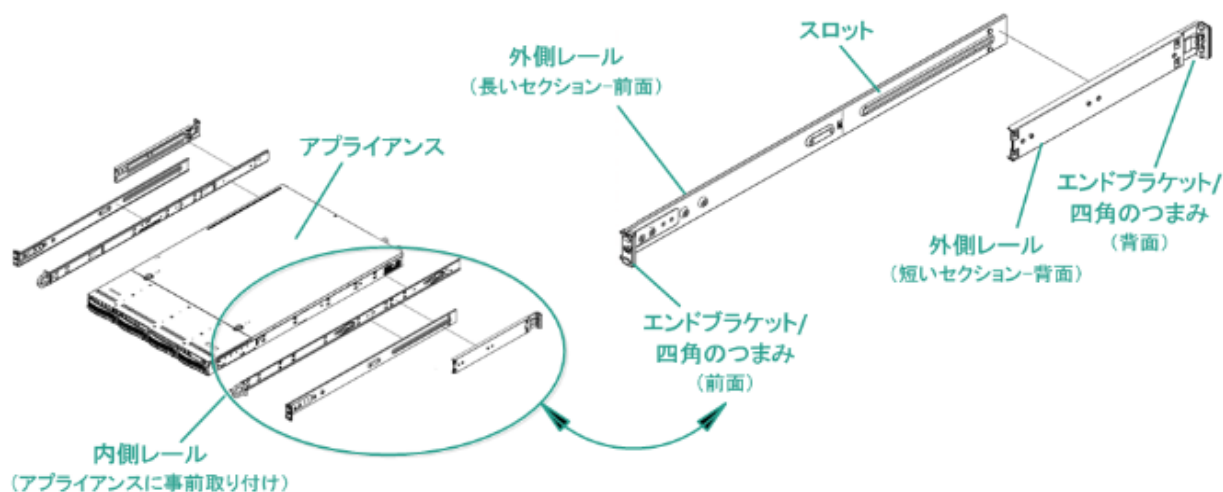
7-1 設置方法 (1U モデル: Arcserve CRS 1012, 1024)

アプライアンスをラックに固定するため、同梱のラック マウント キットを利用できます。このキットは、アプライアンス本体に取り付け済みの内側レールと、外側レールで構成されています。

1. 設置場所の前面および背面に気流を塞ぐような障害物がないことを確認します。設置場所で常に適切な動作温度が維持され、熱、電氣的ノイズ、電磁場が生じないことを確認します。ラックにはレベリング ジャッキとスタビライザが適切に取り付けられていることを確認します。1つのラックに複数の機器を取り付ける場合は各分岐回路の総負荷が定格容量を超えないことを確認します。これ以降の設置作業は安全のため必ず複数人で実施してください。

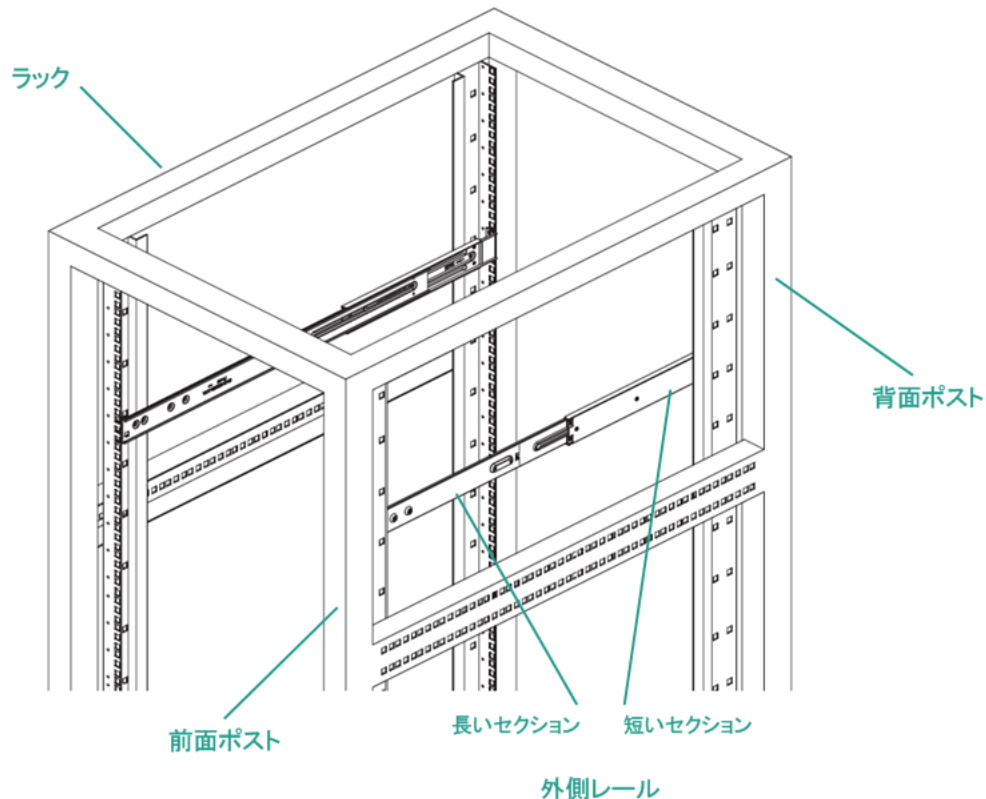
注: 外側レールは 2 つのセクションから構成されます。設置後には、長いセクションがラックの前面ポスト(支柱)に取り付けられ、短いセクションがラックの背面ポストに取り付けられます。

2. 外側レールの短いセクションと長いセクションのピンを対応するスロットの穴に合わせて取り付けます。



Arcserve® CRS 1000 シリーズ はじめにお読みください

3. 外側レールの短いセクションの 2 つの四角形の手がかりが、背面ポストの四角形の穴に合うようにしっかりと取り付けます。保守性を考慮し、アプライアンスはラックの低い位置に取り付けます。

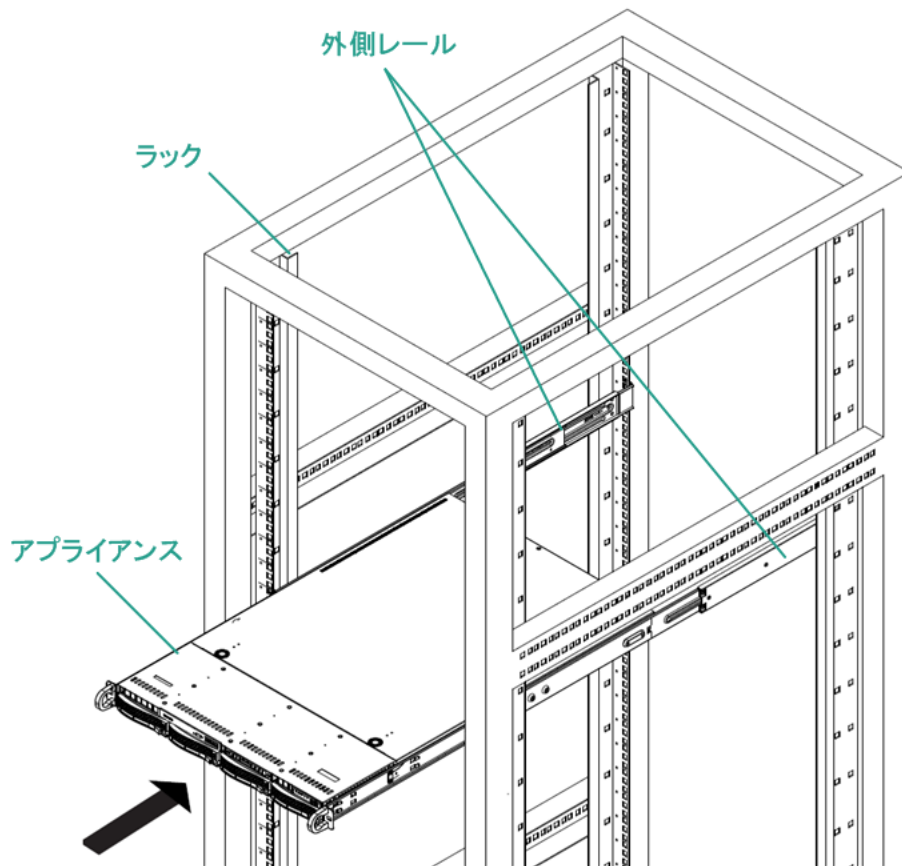


4. 組み立てられた外側レールの全体の長さを調整し、レールがラック内に水平に収まるようにします。
5. 外側レールの長いセクションの 2 つの四角形の手がかりが前面ポストの四角形の穴に合うようにしっかりと取り付けます。
6. 外側レールを取り付けた状態で、短いセクションと長いセクションを、ラックの内側から、皿ワッシャーと短い皿ネジを使用して固定します。
7. もうひとつの外側レールに対して手順 2~6 を繰り返します。左右のレールの高さが一致するように取り付けます。

注:アプライアンス本体の側面には内側レールがあらかじめ取り付けられています。必要に応じて内側レールの延長も可能です。内側レールを延長しない場合は、アプライアンスをラックから取り外す際にご注意ください。本体後端より先にレールが抜けます。

Arcserve® CRS 1000 シリーズ はじめにお読みください

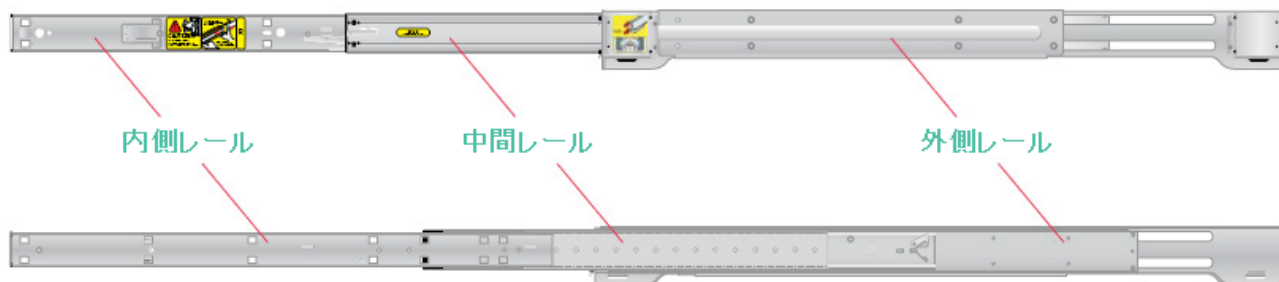
8. アプライアンスを慎重に持ち上げ、内側レールの後端をラックにマウントされた外側レールの前端に合わせて挿入します。両方の側を適度に押しながらアプライアンスをラック内の設置場所までスライドしてロックさせます(カチッと音がするまでスライドします)。



9. 最後に、長い皿ネジを使用し、シャーシ前面のハンドル部分にある穴をネジ止めします。左右2箇所ともネジ止めします。

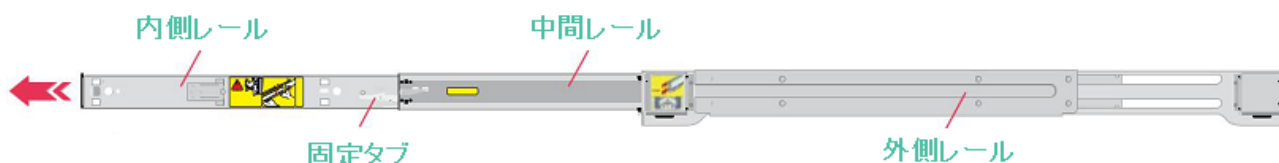
7-2 設置方法(2U モデル:Arcserve CRS 1040, 1080)

アプライアンスをラックに固定するため、同梱のラック マウント キットを利用できます。このキットには、下図のラック レール アセンブリが含まれます。

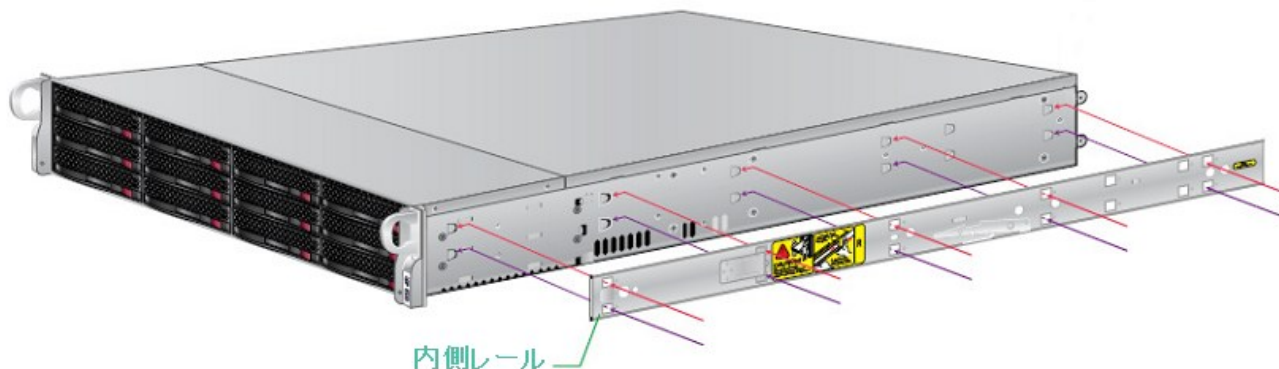


注:ラック レール アセンブリは左右で異なります。特に内側レールを取り間違えないよう注意してください。
注:中間レールの前方にあるボール ベアリング シャトルは中間レールから取り外さないようにしてください。

1. 設置場所の前面および背面に気流を塞ぐような障害物がない事を確認します。設置場所で常に適切な動作温度が維持され、熱、電氣的ノイズ、電磁場が生じないことを確認します。ラックにはレバリング ジャッキとスタビライザが適切に取り付けられていることを確認します。1 つのラックに複数の機器を取り付ける場合は各分岐回路の総負荷が定格容量を超えないことを確認します。これ以降の設置作業は安全のため必ず複数人で実施してください。
2. ラック レール アセンブリから内側レールを取り外します。レールを最大まで引き伸ばし、固定タブを押し下げて内側レールを前方に引き出します。



3. 内側レールをアプライアンスに取り付けます。内側レールの穴とアプライアンスの両側にあるフックを合わせるようにはめ込みます。その後、内側レールをアプライアンス前方にスライドさせ、ロックされることを確認します。



4. 1 本の M4 x 6 皿ネジを後端のネジ穴で締めて、内側レールをアプライアンスに固定します。
5. もうひとつの内側レールに対して、手順 2~4 を繰り返します。

Arcserve® CRS 1000 シリーズ はじめにお読みください

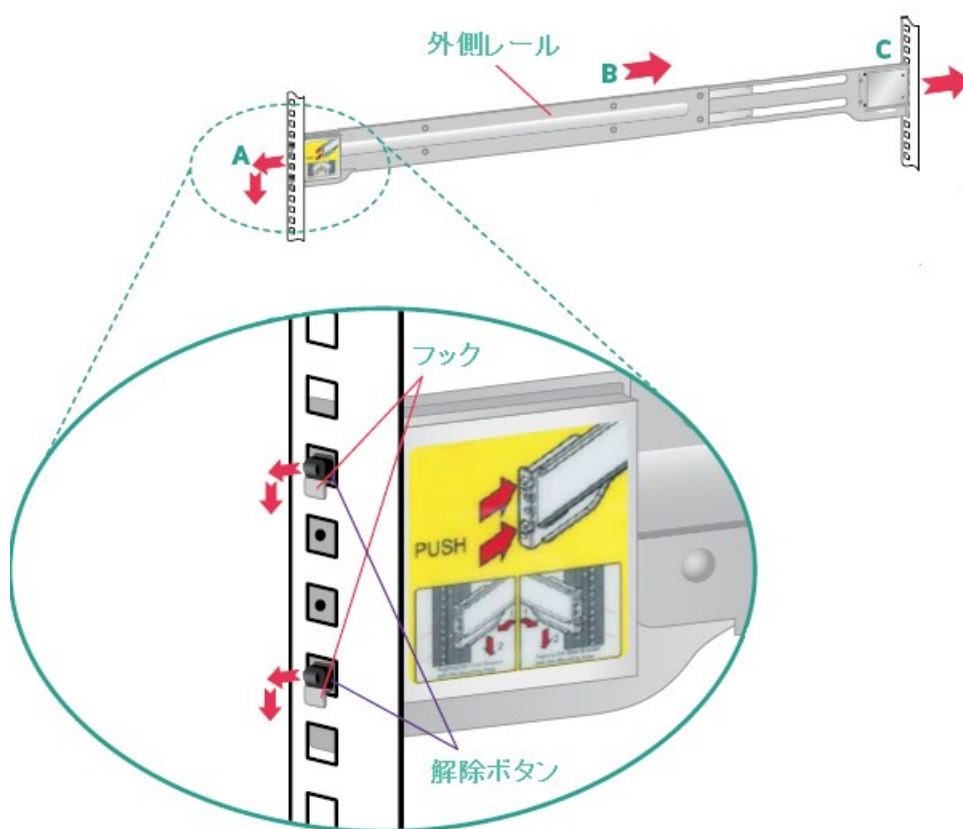
6. 手順 2 で伸ばした中間レールの固定タブを押し下げて、中間レールを外側レールに収納します。



7. 外側レールをラックの前面ポスト(支柱)に取り付けます。外側レールのフックが下向きになるようにラックの取付穴に差し込みます。解除ボタンにより、レールが正しい位置に固定されます。(下図の A)
なお、保守性を考慮し、アプライアンスはラックの低い位置に取り付けてください。

8. 外側レールの後部をラックのサイズに合わせて引き伸ばし、レールがラック内で水平になるように調整します。(下図の B)

9. 外側レールをラックの背面ポストに取り付けます。外側レールのフックが下向きになるようにラックの取付穴に差し込みます。解除ボタンにより、レールが正しい位置に固定されます。(下図の C)



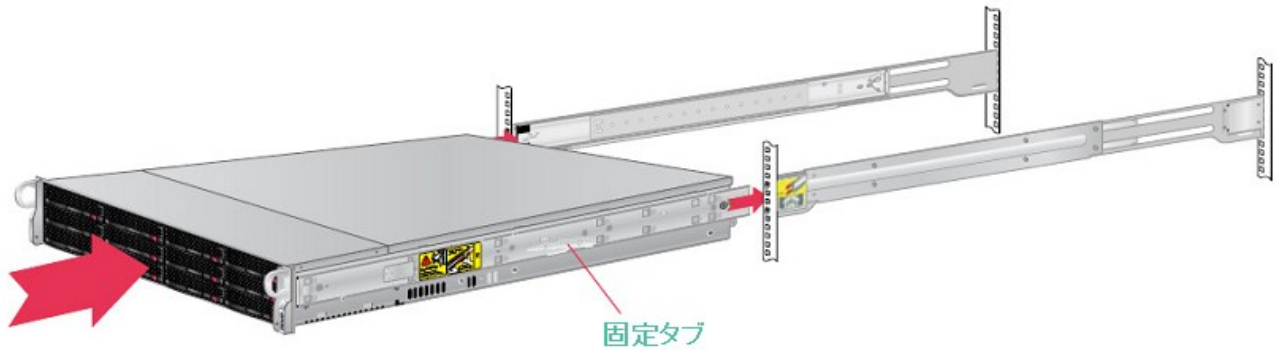
10. 外側レールを取り付けた状態で、前面から M5 x 12 皿ネジとワッシャーを使用して上下のネジ穴にネジ止めします。中央のネジ穴はアプライアンスの固定に使用するため、ここでは使用しません。背面も同様に 2 箇所固定します。

11. もうひとつの外側レールに対して、手順 6~10 を繰り返します。左右のレールの高さが一致するように取り付けます。

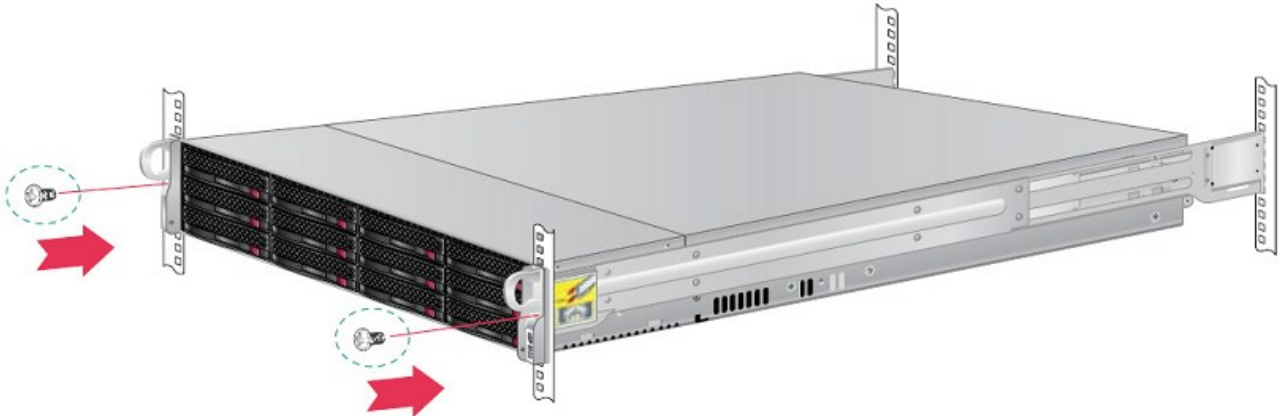
Arcserve® CRS 1000 シリーズ はじめにお読みください

12. アプライアンスを慎重に持ち上げ、内側レールの後端をラックにマウントされた中間レールの前端に合わせて挿入します。内側レールの固定タブが正しい位置に収まるまで、両方の側を適度に押しながらアプライアンスをスライドします。(カチッと音がするまでスライドします)。

13. 左右の内側レールの固定タブを同時に押し下げ、ラックの一番奥までアプライアンスを押し込みます。



14. アプライアンス ハンドルの穴に M5 x 20 トラスねじを差し込んでネジ止めします。左右 2 箇所ともネジ止めします。



8 ケーブルの接続

1. LAN ケーブルをイーサネットポートに接続します。前面パネルで、対応するネットワーク アクティビティの LED が点灯します。(ETH0 ポート = ネットワーク 1 LED、ETH1 ポート = ネットワーク 2 LED)
2. 電源ケーブルの一端をアプライアンスの背面に接続し、もう一端を電源に接続します。コンセントは奥まで確実に挿入し、必ずアースを取ってください。
3. モニタとキーボードを接続します。
4. IPMI (※)専用ポートを LAN ケーブルでネットワークに接続します。IPMI ポートのデフォルト IP アドレスは「192.168.1.2」です。必要に応じて BIOS セットアップで変更してください。

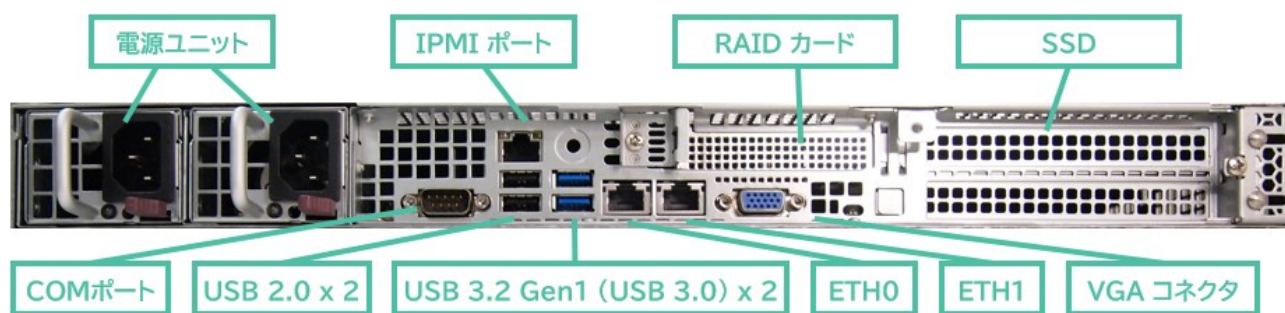
※ IPMI(Intelligent Platform Management Interface)は OS から独立したサーバのリモート監視/管理を可能にする業界標準のインターフェースです。IPMI を使用することで、例えばリモートで Arcserve CRS アプライアンスの電源をオン/オフしたり、Arcserve CRS アプライアンス内部の温度やファンの状態を監視したりすることができます。

注: IPMI アクセス用のデフォルトのユーザ名/パスワードは ADMIN/ArcADMIN1 です(大文字と小文字が区別されます)。これはできる限り早めに他の値に変更してください。デフォルトのパスワードを変更する方法については、以下のガイドを参照してください。CRS アプライアンス と UDP 9000 v2 シリーズはハードウェアが共通なので、下記ガイドの 1 章は CRS アプライアンスでも適用できます。ただし、2 章で説明している LSA は CRS アプライアンス では利用できません。

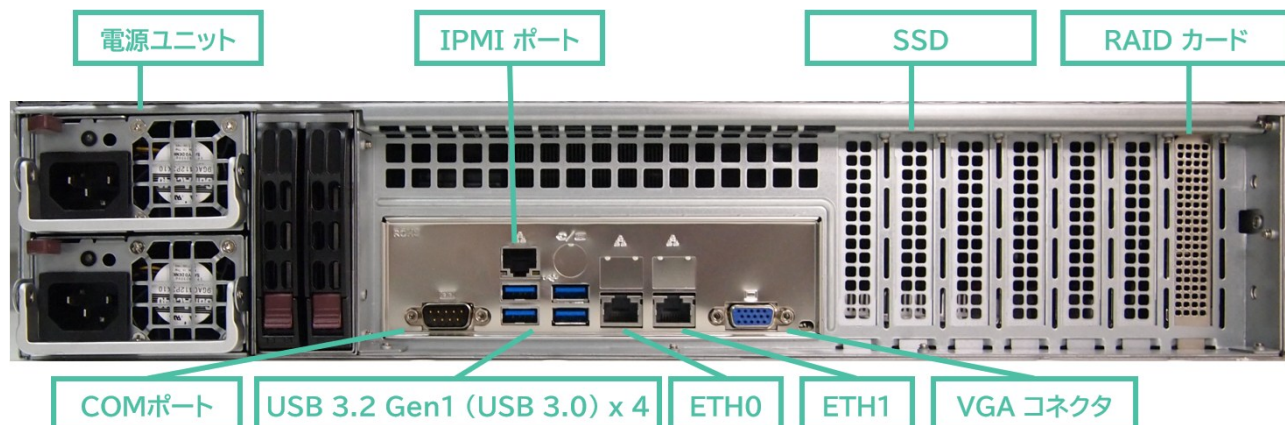
・Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ ハードウェア エラーのメール通知設定

<https://www.arcserve.com/hubfs/243905555/jp-resources/udp-9000v2-hardware-alert.pdf>

<1U モデル:Arcserve CRS 1012, 1024 の背面>



<2U モデル:Arcserve CRS 1040, 1080 の背面>



9 電源を入れる

1. 前面パネルで電源ボタンを押します。電源 LED が点灯します。
2. フェイス プレートを前面パネルに取り付けます。

重要:アプライアンスの電源が初めて入ると、自動的に数回再起動されることがあります。これは、初回開始の正常な動作です。

<1Uモデル:Arcserve CRS 1012, 1024)の前面>



<2Uモデル:Arcserve CRS 1040, 1080 の前面>



注: HDD は決して取り外さないでください。特に通電中に HDD を取り外すと故障する事があります。誤操作による故障は、有償での修理対応になります。

10 初期セットアップ

CRS アプライアンスに電源を入れたら、ログイン画面が表示されます。

```
Arcserve Cyber Resilient Storage Server
Version: 1.6.1504

localhost login: _
```

以下のガイドに従い、CRS アプライアンスの初期セットアップ(Super Admin アカウントの作成、タイムゾーンの設定、ホスト名の設定、ネットワーク プロファイル設定、ストレージ プールの設定、時刻同期設定)を行います。

・Arcserve CRS スタートアップ ガイド - 3.3 初期セットアップ

<https://www.arcserve.com/hubfs/243905555/jp-resources/crs-start-up-guide.pdf#page=13>

CRS アプライアンスにはデータ領域用のハードウェア RAID コントローラが標準搭載されており、RAID も組み込まれた状態になっています。ストレージ プールはそのハードウェア RAID 上に作成してください。(下図のように、容量の大きいディスクを選択してください。)

```
Step 5/6 - Set up storage pool
> Do you want to create initial storage pool? (default: yes) Yes
> Enter a name for the initial storage pool:
> Select a single hardware RAID disk, or at least three disks to create a new software RAID:
(Use arrow keys to move and Space to select an item)
» ■ 72.8T - BROADCOM - SAS 3908
   ■ 238.5G - ATA - Newtech NRUP-KM000
```

初期セットアップが完了したら、上記のスタートアップ ガイドの手順に従い、CRS アプライアンスを設定/利用してください。

<メモ欄>

11 サポートへのお問合せ

Arcserve CRS アプライアンスにはメンテナンスが標準で付随しており、メンテナンス期間中にチョイスサポートプログラム(CSP)をご利用いただけます。

◆ 有償サポートお問い合わせ方法

➤ Arcserve サポートポータルでのお問い合わせ

<https://support.arcserve.com/s/?language=ja> にログインし、[ケースをオープン] からお問い合わせください。

Sev1 案件（本番環境におけるシステムダウン）については対応の迅速化を図るために、弊社サポートセンターまでお電話でご連絡をいただくようお願い致します。

➤ 電話でのお問い合わせ

0120-702-660 (Arcserve サポート CSP 窓口) におかけください。

製品担当者より折り返し対応させていただきます。受付時間は平日の 9 時から 17 時 30 分です。

24 時間 365 日ハードウェア サポート オプションを購入したお客様で、営業時間外のハードウェア サポートを希望される場合は電話でご連絡ください。営業時間外の間合せ受付はハードウェアの問題に限ります。切り分け後にソフトウェアの問題だと判明した場合は、翌営業日以降の対応になります。

◆ お問い合わせに必要なもの

お問い合わせの際に以下の情報をご準備ください。(サポート受付時に必要な情報です)

- お客様情報
会社名、ご担当者名、メールアドレス、電話番号をご用意ください。
- お客様のオーダーID
ライセンス プログラム証書に記載されているオーダーID をお知らせください。
- 本製品のシリアル番号
本体前面左側タグに貼付/ライセンス プログラム証書に記載されているシリアル番号(12 桁の英数字)をお知らせください。
- 問題と環境の詳細
ご利用の製品のバージョン、環境(ハードウェア、OS、アプリケーション、ネットワーク)や問題の内容の詳細をできる限り詳細にご確認の上、ご準備いただきますと、問題解決がより早くなります。

◆ 初回応答時間目標

折り返し対応のご連絡までのお時間はシビアリティ(重大度)により下記を目安にさせていただきます。

- Sev.1 : プロダクション・システムのダウンまたは稼動不能な状況 … 1 時間
- Sev.2 : 製品に関する問題で、影響が大きいと予想されるもの … 2 営業時間
- Sev.3 : 製品に関する問題で、発生頻度が低く、影響が小さいもの … 4 営業時間
- Sev.4 : 製品の使用方法やインプリメンテーションに関する質問 … 1 営業日
(16 時以降にお受けした場合は翌日ご対応させていただく場合があります。)

◆ 注意事項・制限事項

本サポート プログラムのサポート条件につきましては Arcserve CRS Appliance Support Policy (https://support.arcserve.com/resource/Arcserve_CRS_Appliance_Support_Warranty_Policy_JPN) をご覧いただき、同意いただくものとします。

また、本サポート プログラムでは以下の項目についてはサポート範囲を超える制限事項とします。

Arcserve 製品自体のプログラム変更及びプログラム開発
プログラムのデバッグ作業
コンサルティング サービス
出張・出向サービス(ハードウェアの修理対応を除く)